

平成27年度

# 飯豊町の予算のあらまし

## 目次 contents

- 1~2 予算の概要  
一般会計の歳入、歳出
- 3~10 本年度の事業について
- 11 地方創生への取り組み
- 12 地域づくり推進事業
- 13 行財政改革の取り組み  
財政の健全度
- 14 町債残高、基金の推移

飯豊町の予算の使い道などを  
わかりやすくご説明します。

# ★ 平成27年度予算の全体像について

平成27年度当初予算の総額は前年度比5.3%増の111億4,575万円2千円

平成27年度の一般会計予算は、前年度比5.3%増の71億5,500万円となり、5年続けたの増額予算となりました。増加の主な要因としては、起業支援施設整備事業、草地畜産基盤整備事業、多面的機能支払交付金、水田畑地化基盤整備事業などの増によるものです。

特別会計の予算規模は、32億7,887万9千円で、農業集落排水事業特別会計では減額となっているものの、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計の増により、特別会計全体では微増となっています。

企業会計（水道事業会計）は7億1,187万3千円と昨年度比38.8%の大幅増となっていますが、これは本年度より新水源取得等の事業に着手するためです。

|      |                      |
|------|----------------------|
| 一般会計 | 71億5,500万円（前年比5.3%増） |
| 特別会計 | 32億7,888万円（前年比0.1%増） |
| 企業会計 | 7億1,187万円（前年比38.8%増） |



※各会計とも千円以下の端数は調整しています

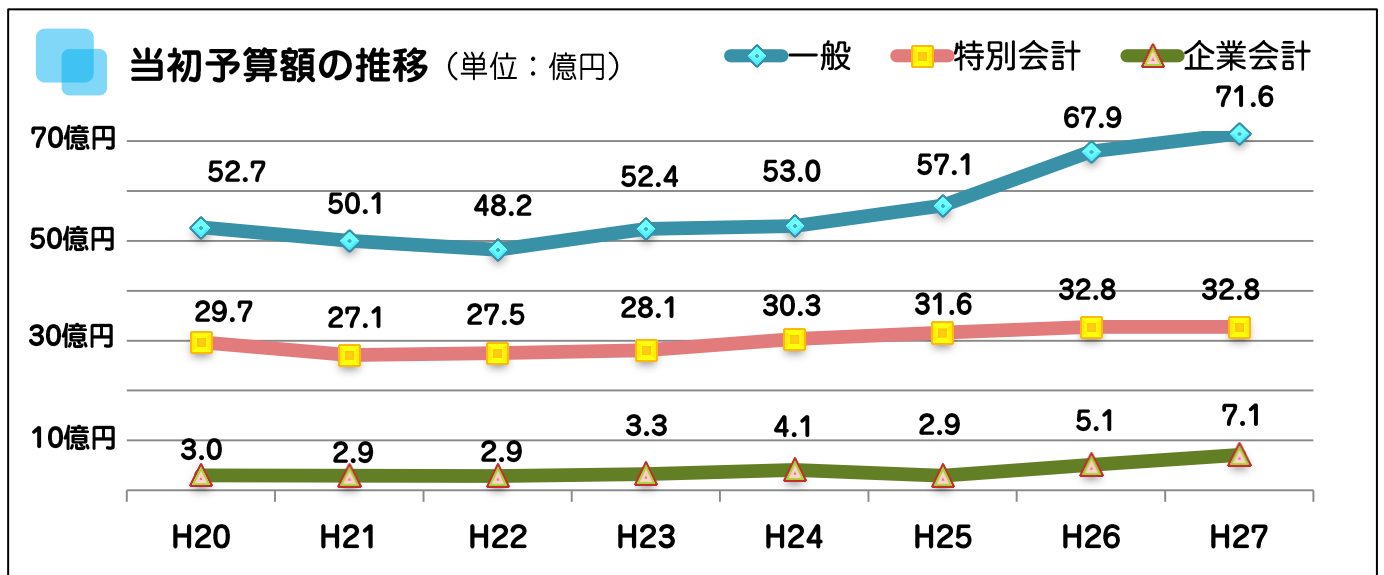
## 予算とは？

予算とは、1年間（4月から翌年3月まで）における収入と支出の見積りのことです。新しい年度が始まる前に、その1年間で、どのくらいの収入があるのか、1年間の行政サービスをどのように行うのかを計画し、そのために使うお金を見積もります。予算を見れば、1年間に飯豊町でどのような収入があり、何に使っているのかがわかります。

## 予算はどうやって決まる？

飯豊町では、地域における総合的かつ計画的な行政運営を図るため、基本構想・基本計画・実施計画・地区別計画から構成される第4次飯豊町総合計画に定めた目標を達成するための、効果的な予算の編成について検討します。

その上で、財政計画や個別の公約などと照らし合わせて、町長が各課からの案を自分の考えにそって予算案をまとめ、町議会に提出します。町民を代表する町議会議員は、提案された予算案をいろいろな面から審議した上で、町議会の議決によって成立します。



# ★ 一般会計の歳入と歳出の内訳

一般会計とは、福祉や防災、道路、教育など役場の基本的な仕事に関する収入と支出を管理する会計です。

## 歳入

## 歳出

※歳出内訳は、目的別に分類しています

**町税 5億6,483万円**  
町民税、固定資産税など

**使用料及び手数料 7,814万円**

**諸収入 2億8,463万円**  
分担金及び負担金、寄附金、財産収入、繰越金など

**繰入金 6億5,168万円**  
基金繰入金など

**\* 自主財源**  
町が自主的に収入できる財源

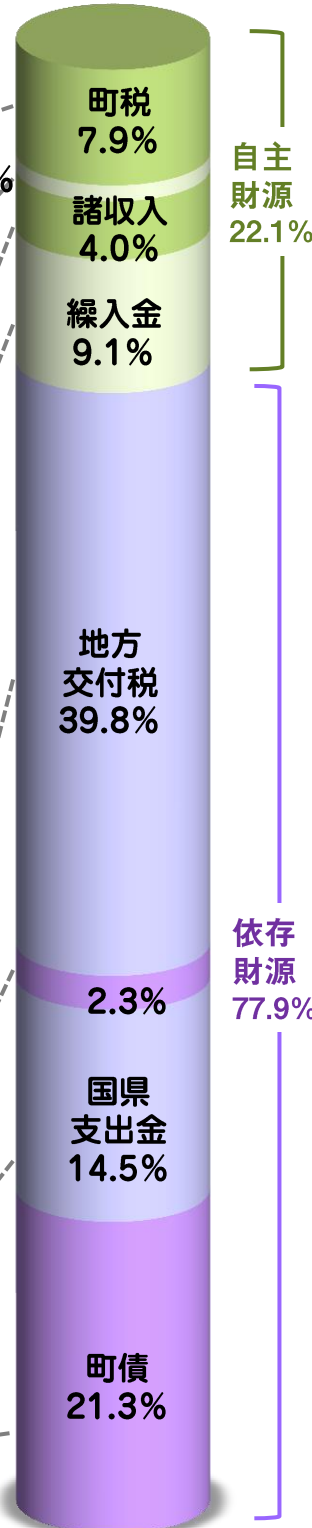
**地方交付税 28億4,860万円**

**地方譲与税等 1億6,600万円**

**国・県支出金 10億3,682万円**

**町債 15億2,430万円**  
過疎債、臨時財政対策債など

**\* 依存財源**  
国や県から定められた額を交付されたり、割り当てられる収入



**総務費 14億638万円**  
庁舎や財産の維持管理、税金の徴収、戸籍管理、選挙、統計など

**民生費 12億5,751万円**  
中学3年生までの医療費無料化や児童手当、お年寄りへの福祉、障がい者の支援のための費用

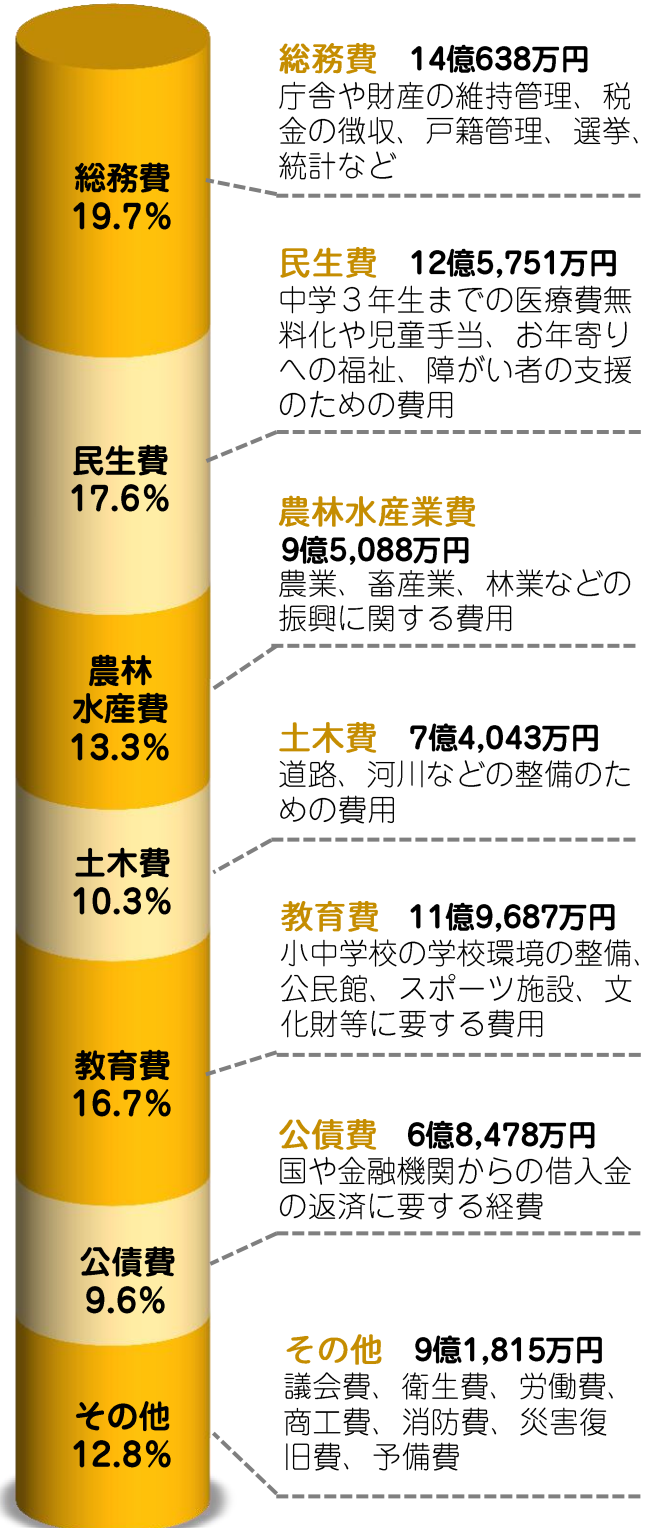
**農林水産業費 9億5,088万円**  
農業、畜産業、林業などの振興に関する費用

**土木費 7億4,043万円**  
道路、河川などの整備のための費用

**教育費 11億9,687万円**  
小中学校の学校環境の整備、公民館、スポーツ施設、文化財等に要する費用

**公債費 6億8,478万円**  
国や金融機関からの借入金の返済に要する経費

**その他 9億1,815万円**  
議会費、衛生費、労働費、商工費、消防費、災害復旧費、予備費



1

にぎわいあふれるまちづくり

地域づくり推進事業

担当

総務企画課 総合政策室

平成27年度予算額

855万円

平成26年度予算額 730万円

第4次飯豊町総合計画に基づき、町内各地区では、地区の将来像や方向性を検討し、地区が主体的に取り組むべき将来に向けた重点事業、5年間で取り組むアクションプランの概要などを策定しました。

飯豊町では、最終年を迎える地域づくり推進事業への補助を実施するほか、28年度からの後期計画に向けた取り組みを推進していきます。

(地域づくり推進事業補助金を活用した各地区の事業については12ページをご覧ください)



地区別計画策定時のワークショップの様子

にぎわい再現プロジェクト事業

担当

教育文化課 まちづくり室

平成27年度予算額

459万円

平成26年度予算額 466万円

若者の力で町の活性化に取り組むための事業です。いいで未来号や婚活イベント、プロジェクト委員会メンバーと町内の団体との交流会など、町のにぎわいを取り戻すための活動や、「にぎわい茶房」事業や「復刻版！椿劇場」事業への補助などを実施していきます。



にぎわい再現プロジェクト  
～なんぞ東京高円寺に飯豊町？～  
**いいで未来号 VI**  
2014.10.18～10.19 飯豊町～東京高円寺

いいですね定住推進事業

担当

総務企画課 総合政策室

平成27年度予算額

1,071万円

平成26年度予算額 1,117万円

「飯豊町ふるさと定住いいですね条例」により住宅を取得した方に対する奨励金の交付をはじめ、結婚、出産、入学など人生の節目にお祝いを贈り、「ふるさといいで」への定住を推進します。



## 新水源整備事業

新規

担当

地域整備課 上下水道室

平成27年度予算額

4億200万円

平成26年度予算額 一万円

平成27年度より「中水源」の取水施設整備に着手し、安心して利用いただける水道水の安定供給を精力的に目指していきます。



試験井戸の試掘作業の様子

## 廃棄物処理事業

担当

住民税務課 生活環境室

平成27年度予算額

8,398万円

平成26年度予算額 8,614万円

循環型社会の構築を目指し、ごみの発生抑制や再資源化などにより、ごみの減量化と資源の有効活用への取り組みを推進します。

具体的には、可燃、資源、不燃ごみなどの一般廃棄物の収集運搬のほか、長井・千代田クリーンセンター等の運営負担金、各戸に配布するごみ収集カレンダーなどに要する経費です。



## 木質燃料利用促進事業

担当

農林振興課 農林整備室

平成27年度予算額

275万円

平成26年度予算額 298万円

ペレットストーブを設置し、かつ一定期間利用されることを条件に、ペレットストーブの設置に要する経費の1/2を助成します。

また、町内産木質ペレットの購入にポイントを進呈し、一定ポイントがたまると、町内の指定店舗等で使用できる商品券と交換できる「木質ペレット版エコポイント事業」などに要する経費です。



ペレットストーブに使用する木質ペレット

3

生きがいと笑顔のまちづくり

配食サービス事業

担当 健康福祉課 福祉室

平成27年度予算額

436万円

平成26年度予算額 302万円

家族環境の変化により、一人暮らしの高齢者や高齢夫婦世帯等が増加しているなか、食生活の変化などにより栄養改善が必要な高齢者も増加しています。

昨年度の中津川地区での実施に引き続き、平成27年度は他のモデル地区を選定し、地域にあった配食サービスの仕組みづくりを実施します。

栄養バランスに配慮した弁当を定期的にお届けすることで、利用者の栄養改善と見守り活動を行い、生き生きと安心して暮らせる地域づくりに結び付けます。



デマンド交通事業

担当 住民税務課 生活環境室

平成27年度予算額

1,744万円

平成26年度予算額 1,380万円

高齢者などの交通弱者を含めた全住民を対象に自宅から目的地まで乗り合いタクシー方式による送迎サービスを行う事業です。

飯豊町にお住まいの方で利用登録された方であれば利用できます。詳しくは、飯豊町社会福祉協議会（72-3353）までお問い合わせください。

- ・ほほえみカー予約センター（86-2220）



認知症対策事業

新規

担当 健康福祉課 福祉室

平成27年度予算額

200万円

平成26年度予算額 -

認知症の「早期発見・早期対応」のために専門職で構成された「認知症初期集中支援チーム」を設置し、本人及び家族への支援を行うことにより自立した生活が送れるようにサポートします。

また、認知症等により行方不明となった方の早期発見・保護を行うための事前登録制度を始め、長井警察署と情報共有し早期発見につなげます。



## 第一小学校改築事業

担当 教育文化課 学校教育振興室

平成27年度予算額

6億709万円

平成26年度予算額 10億7,864万円

平成28年9月の完成に向けて、引き続き第一小学校の改築事業を実施していきます。

平成27年度は、いよいよ校舎本体の建築に着手し、杭工事、躯体工事、内装工事などに取り組んでまいります。大規模な工事となりますが、今後も安全を第一に考えながら、子どもたちが元気に生き生きと生活し、安心して楽しく学習や運動ができる教育環境の整備に努めるとともに、地域の拠点ともなる新しい学校づくりを進めてまいります。



※ イメージ図

## いいで希望塾事業

新規

担当 教育文化課 学校教育振興室

平成27年度予算額

393万円

平成26年度予算額 ー 万円

将来の飯豊町を担う中学生が自主的に学び、一層確かな学力と自ら進路を切り開く力を身に付けることをねらいとして、町営学習教室「いいで希望塾」を開設します。教科は数学と英語で、期間は7月から2月を予定しています。プロの学習塾講師が指導にあたり、学校で学んだ内容をベースとして、基礎基本の定着を目指すベーシックコースと、応用問題や難題に挑戦するスタンダードコースのいずれかを選択して学習します。希望するすべての生徒に学校以外での学習の機会を提供し、一人ひとりの学力と自信を高めます。



## つばき保育園屋外運動場整備事業

担当 教育文化課 子育て支援室

平成27年度予算額

1,000万円

平成26年度予算額 1,500万円

低年齢児の保育ニーズの高まりと施設利用の増加傾向が続くことから、つばき保育園に隣接する施設を再整備し、保育園として拡充整備してきました。

平成27年度は、保育環境をより快適でより安全なものにするため、昨年度に引き続き運動場周辺の整備を実施します。



5

安心・快適なまちづくり

太陽光発電設備導入事業

担当

教育文化課 学校教育振興室

平成27年度予算額

4,030万円

平成26年度予算額 3,200万円

山形県市町村防災拠点再生可能エネルギー導入促進事業を活用して、大規模災害が発生した場合の町指定避難所である飯豊中学校に太陽光発電設備等を設置します。

災害時の拠点施設として、太陽光パネル、蓄電池などを整備し、非常時における災害拠点としての機能強化に努めます。



設置予定の飯豊中学校

交通安全対策事業

担当

住民税務課 生活環境室

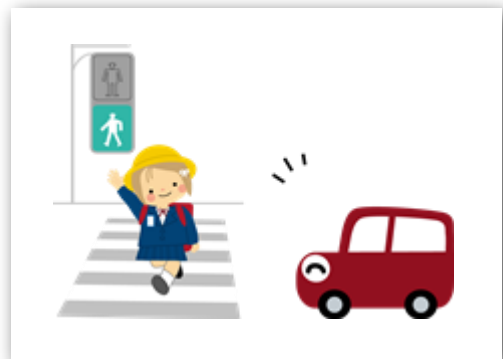
平成27年度予算額

320万円

平成26年度予算額 276万円

交通安全教育の普及や指導にあたる交通安全専門指導員を配置するほか、カーブミラー、赤色回転灯等の設置・修繕などを実施し、交通事故のない安全で安心なまちづくりを推進します。

また、交通安全啓発のための教材や物品の配布、交通災害共済に関する事務、交通安全に関する各種団体への補助を実施します。



防犯事業

担当

住民税務課 生活環境室

平成27年度予算額

1,376万円

平成26年度予算額 1,228万円

犯罪のない明るく住みよいまちづくりのため、防犯灯の設置・修繕を実施するほか、地区管理防犯灯の設置・修繕、支払電気料に対する助成に引き続き取り組んでいきます。また、青色パトロールカーの運行、防犯啓発物品の配布、防犯各種団体への補助を実施します。





## 道路事業

担当

地域整備課 建設室

平成27年度予算額

3億8,560万円

町では、平成16年度に道路整備計画を策定し、暮らしの利便性を高める道路網を整備するとともに、歩行者に配慮した道路整備を進めてきました。今後も交通環境の変化に対応すべく、計画の見直しを継続的に実施しながら、計画的かつ効果的な道路交通体系の整備を促進していきます。

全国的な課題として、道路や橋りょうについては、高度成長期に相次いで建設された交通インフラが老朽化しつつあり、今後は維持管理及び更新に要する経費が増加する見込みとなっております。本町においても、長期的な視点に立って、道路・橋りょう等のインフラ点検・修繕・更新を計画立てて実施していく必要があります。

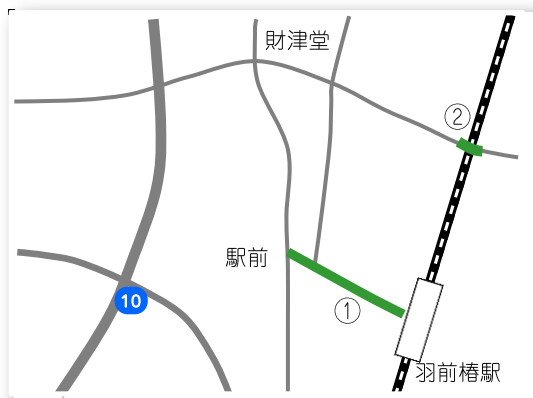
平成27年度は、道路維持・改良に関する事業として次のような事業を実施していきます。

### ■ その他町道路線の維持、改修等に関する事業

- ・ 橋梁長寿命化修繕事業
- ・ 工業団地線舗装補修事業
- ・ 須郷小屋線法面補修事業
- ・ 側溝整備工事、交通安全施設工事
- ・ 向原線道路改良事業
- ・ 南館深淵線外道路改良事業

その他、橋りょうの点検、道路施設の修繕に要する経費など。

- ① 椿停車場線歩道整備事業
- ② 田中諏訪線田中踏切改築事業



- ③ 原南線道路改良事業



## 用排水路整備事業

担当

農林振興課 農林整備室

平成27年度予算額

2,850万円

本町では、農業用水の安定的な供給や洪水による農業被害等を防ぐために用排水路の整備を実施しています。

これらの農業用施設は、地域の環境や景観を創出するほか、健全な水環境を形成し、生活用水、防火用水、地下水涵養など多様な役割を発揮します。また、近年の異常豪雨による農地や農業用施設等の被害軽減にも資するため、精力的に取り組んでいきます。

### ■ その他排水対策事業など

- ・ 中ノ目北排水路（測量試験、本工事）
- ・ 中ノ目南排水路（測量試験、本工事）
- ・ 下町排水路（測量試験、本工事）
- ・ 黒沢排水対策（測量試験、本工事）
- ・ 上野排水路（測量試験、本工事）
- ・ 東山工業団地内排水路（本工事）

など



6

こだわりの産業づくり

起業支援施設整備事業

担当 総務企画課 行政管理室

平成27年度予算額

6億円

平成26年度予算額 9,878万円

新しい産業と雇用の創出を目的に誘致が決定した「山形大学蓄電デバイス開発研究センター飯豊拠点」のための起業支援施設を整備します。

平成27年度は、第2期工事として新棟建築工事等を行います。



施設建設場所の旧LDF山形工場跡地

6次産業化推進事業

担当 商工観光課 産業連携室

平成27年度予算額

1,076万円

平成26年度予算額 880万円

米やアスパラガス、米沢牛などをはじめとする本町の農産物について、その魅力をPRし、ブランド力の向上へ結びつけるためにも加工や販売経路の拡大が必要です。

平成27年度は、平成26年度に東京都杉並区高円寺純情商店街にオープンした「高円寺チャレンジショップ」を拠点として、町内産品の販売やPR、農村と都市との交流、首都圏へ向けた様々な情報発信などを行います。また特産品の開発に向けた取り組みへの支援、生産者等が自ら行う販路拡大事業への支援を行います。



高円寺チャレンジショップの様子

飯豊・農の未来事業

担当 農林振興課 農業振興室

平成27年度予算額

520万円

平成26年度予算額 66万円

昨年度実施した「飯豊・農の未来賞」受賞論文に基づきマスタープランを策定し、計画に基づいた「飯豊・農の未来事業」として事業を推進します。

具体的には、①持続可能な地域自給、②飯豊型水田利活用、③農地の有効利用、④人財確保育成・技術向上、⑤飯豊ブランドの確立、⑥6次産業化推進、⑦ひと・ところ・ふるさと交流、七つのプランを柱として取り組みます。新たな農業の未来を切り拓き、持続可能な農業を展開することにより、この美しい村を町民のみなさんとともに未来へ築き上げてまいります。



## 広報いいで発行事業

担当

総務企画課 情報防災室

平成27年度予算額

298万円

平成26年度予算額 371万円

「広報いいで」は、町民の皆さんと行政をつなぐ大切なパイプ役です。行政情報を分かりやすく提供するとともに、皆さんの声を反映した紙面づくりを積極的に進めます。

また、本紙の特徴である“飯豊町に生きる人を応援する”紙面を継続し、充実の地域情報をよりタイムリーに発信します。町民の皆さんのまちづくりへの関心を高め、飯豊町に住んでいることへの自信、誇り、夢を育む「まちの情報紙」を目指します。



## 行政情報サービス提供事業

担当

総務企画課 情報防災室

平成27年度予算額

104万円

平成26年度予算額 104万円

飯豊町では、さまざまな情報を町民のみなさんに、電子メールで「携帯電話」や「パソコン」に配信するサービスを行っています。現在実施している配信内容は、町執行選挙時の情報、災害時の情報、学校、幼児施設の保護者向けの情報、農業関係の情報、消防団員向け情報配信などです。

本年度は、町民の皆さんのニーズや利便性を考慮し、配信項目のさらなる拡充への検討を実施します。



## もっと詳しく知りたいときは

こちらで紹介した内容以外にも飯豊町では多くの事業を実施しています。この「予算のあらまし」のほか、広報紙やホームページ、毎月の配布物などで必要な情報を随時お知らせいたします。

また、記載の事業の詳しい内容については、それぞれの担当係までお問い合わせください。



## ★ 地方創生への取り組み

我が国における少子高齢化の進展に的確に対応し、日本全体、特に地方の人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことが喫緊の課題となっています。

国では、まち・ひと・しごと創生法を制定するとともに、人口の現状と将来の姿を示し、今後目指すべき将来の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」および今後の5か年の目標や施策の基本方向、具体的な施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をそれぞれ閣議決定し、まち・ひと・しごと創生に総合的に取り組むこととしています。

地方自治体においても、国と地方が一体となり、国の長期ビジョン及び国の総合戦略を勘案しつつ、各市区町村における人口の現状と将来の展望を提示する地方人口ビジョンを策定し、これを踏まえて地方の今後5か年の目標や施策の基本方向、具体的な施策をまとめたいわゆる「地方版総合戦略」の策定が求められています。

### 「地方人口ビジョン」の策定

飯豊町の人口ビジョンの策定に際しては、既存の文献、白書、統計データを分析し、人口減少が進む要因と課題を明らかにした上で、将来人口推計の試算を行います。この「飯豊町人口ビジョン」は、飯豊町の総合戦略を策定する上での重要な基礎資料となります。

### 「地方版総合戦略」の策定

飯豊町の総合戦略の策定に際しては、計画策定のための委員会等の体制整備を図るとともに、上記の「飯豊町人口ビジョン」のほか、飯豊町第4次総合計画及び内包する地区別計画や過疎地域自立促進計画などの個々の計画内容の精査、進捗の確認を踏まえた上で、これらの計画全体を俯瞰しつつ、本町の課題に対応した総合的かつ実効性の高い総合戦略の策定を目指します。

### 総合戦略推進のための事業

飯豊町総合戦略の策定を踏まえた上で、本町の課題に応じた戦略を進めるための事業について、効果的かつ積極的に事業推進を図っていきます。

平成27年度は、地方創生を推進するため、下記の事業を実施します。

#### ■ 地方版総合戦略策定事業（予算額 400万円）

地方版総合戦略の重要な資料となる人口ビジョン策定のための費用や総合戦略策定のための講師、ワークショップなどの開催のための費用です。

#### ■ 移住・定住推進事業（予算額 200万円）

移住希望者が気軽に利用できる体験住宅の整備に要する費用や移住希望者への総合ガイドブックの作製、相談会やフェアへの対応に要する経費です。

#### ■ 中小企業振興事業費補助金（予算額 1億円）

引き続き厳しい町内の雇用環境に対して、中小企業の活性化、雇用の拡大のための補助に要する経費です。

# 地域づくり推進事業補助金について

## 補助金を活用した平成23年度から26年度までの各地区の主な取り組み

|  |   |
|--|---|
| <p><b>中</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園遊具設置事業</li> <li>・環境整備事業（ホタルの里づくりなど）</li> <li>・イベント事業（中村夏祭り）</li> <li>・自主防災組織育成事業（資機材整備）</li> <li>・広報紙発行</li> <li>・景観整備事業（ふるさと展望台整備）など</li> </ul> | <p><b>萩生</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境美化事業（植栽など）</li> <li>・中ノ目の歴史編纂事業</li> <li>・自主防災資機材整備事業（資機材整備）</li> <li>・イベント事業（萩生城跡公園祭り）など</li> </ul>                       |
| <p><b>黒沢</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境美化事業（植栽など）</li> <li>・動力噴霧器購入（防虫駆除等）</li> <li>・地区レクリエーション事業</li> <li>・すわんぱーく桜周辺整備事業 など</li> </ul>  | <p><b>椿</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境美化事業（植栽、公園美化など）</li> <li>・地区活性化対策調査事業</li> <li>・農産物加工施設整備事業</li> <li>・公園周辺里山整備調査事業</li> <li>・イベント事業（つばき雪あかりの路）など</li> </ul> |
| <p><b>小白川</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災会組織整備事業（資機材整備）</li> <li>・環境美化事業（植栽など）</li> <li>・伝統文化の継承（子ども獅子舞）など</li> </ul>   | <p><b>東部</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境美化事業（植栽など）</li> <li>・眺山地内景観整備</li> <li>・各種お祭り、ブルーベリーの植栽、管理</li> <li>・遊休農地利活用事業</li> <li>・雪灯籠、雪像、イルミネーション事業 など</li> </ul>   |
| <p><b>手ノ子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧宇津峠遊歩道整備事業</li> <li>・スキー場周辺環境整備</li> <li>・ホタルの里づくり事業</li> <li>・八幡山桜の森整備事業</li> <li>・広報紙発行</li> <li>・豊かな家庭づくり事業（郷土伝統料理）など</li> </ul>             | <p><b>高峰</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区公民館周辺整備事業</li> <li>・桜の植樹</li> <li>・花壇の整備</li> <li>・危険支障木の撤去 など</li> </ul>   |
| <p><b>中津川</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと山村留学事業</li> <li>・健康味噌づくり</li> <li>・環境美化事業（植栽など）</li> <li>・地区内青年育成事業 など</li> </ul>  |   |

### 地域づくり推進事業補助金

地域づくり推進事業補助金は、第4次飯豊町総合計画に基づく、各地区別計画等による地区の主体的で創意工夫に富んだ活動を支援することで、多様な主体による自立したまちづくり活動の推進を目的として、平成23年度から実施してきました。平成27年度は、第4次総合計画における地区別計画の進捗や補助効果の検証と合わせて、事業効果やそのあり方について検討していきます。

# ★ 行財政改革への取り組み

平成27年度  
までの5年間で  
4億7,000万円  
の削減目標

将来にわたって安定した行財政運営を確保するために、平成23年3月に「飯豊町第4次行財政改革大綱」を策定し、毎年進捗状況を確認しながら着実な数値目標の達成を目指します。

## 定員適正化計画

職員数と給与水準の適正化に努めるほか、業務の効率化による時間外勤務等の削減に努めます。

## 実施計画、行政評価

第4次飯豊町総合計画（平成23年度～平成32年度）における事業計画の進捗や効果を確認し、見直しを含めたローリングにより、効果的な町民サービスの確保に努めます。

## 開かれた行政運営

地域づくり座談会などの広聴事業、計画策定時のパブリックコメント実施、町広報紙、ホームページの充実、メール配信などによる情報の発信に努めます。

# ★ 財政の健全度

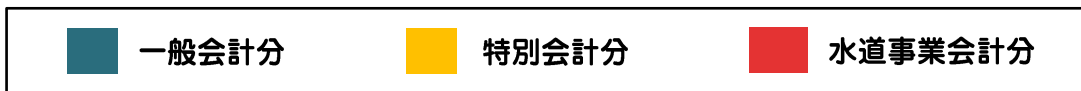
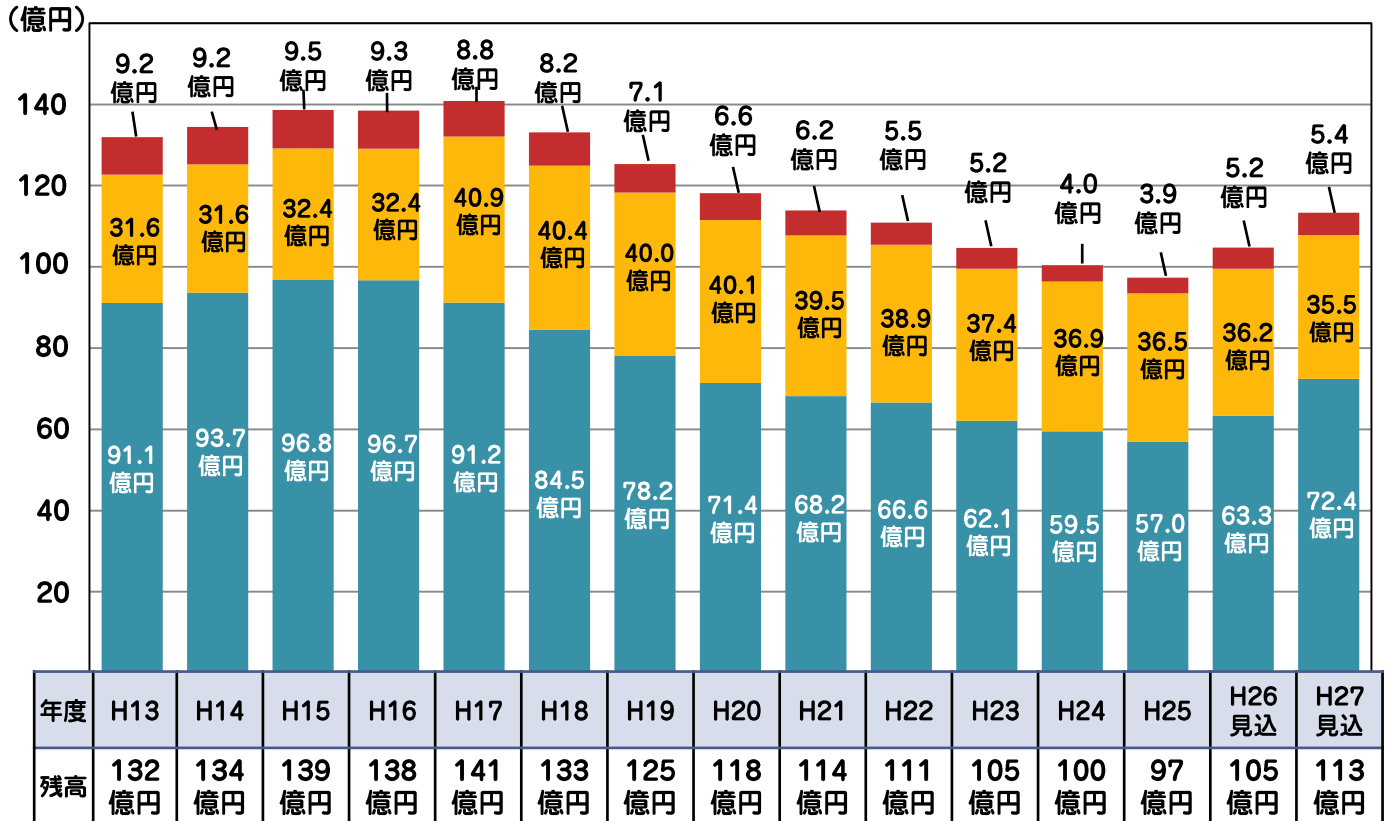
財政の健全度は、健全化判断比率と呼ばれる数値で判断することができます。現在のところ飯豊町の数値はいずれも「問題なし」という結果になっています。しかし、自主財源の乏しい財政状況から、より計画的な財政運営が求められており、長期的な視点で財政運営を行ってまいります。

|                  | 飯豊町の健全化判断比率 |        |        |               | 危険度判断の基準    |            |
|------------------|-------------|--------|--------|---------------|-------------|------------|
|                  | H23決算       | H24決算  | H25決算  | H26決算<br>(見込) | 早期健全化<br>基準 | 財政再建<br>基準 |
| 実質赤字比率<br>(※1)   | (赤字なし)      | (赤字なし) | (赤字なし) | (赤字なし)        | 15%         | 20%        |
| 連結実質赤字比率<br>(※2) | (赤字なし)      | (赤字なし) | (赤字なし) | (赤字なし)        | 20%         | 30%        |
| 実質公債費比率<br>(※3)  | 11.6%       | 10.4%  | 9.5%   | 7.9%          | 25%         | 35%        |
| 将来負担比率<br>(※4)   | 44.4%       | 28.2%  | 21.8%  | 50.1%         | 350%        | —          |

- (※1) 実質赤字比率とは、一般会計等の実質的な赤字を標準財政規模で割った数値です。
- (※2) 連結実質赤字比率とは、全会計(一般会計等+公営事業会計)の実質的な赤字を標準財政規模で割った数値です。一般会計だけでなく、特別会計が赤字となる可能性もあるため、連結して指標としています。
- (※3) 実質公債費比率とは、一般会計等が負担する借入金の返済分が標準財政規模でどの程度あるかを示した指標です。
- (※4) 将来負担比率とは、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。

## ★ 町債残高の推移

一般会計と特別会計を合わせた町債残高は、平成17年度をピークに約141億円の残高がありました。その後は減少に転じています。平成27年度末では一般会計については投資の経費が増加することで、残高は前年度と比較して8億6千万円ほど増加の見込みです。



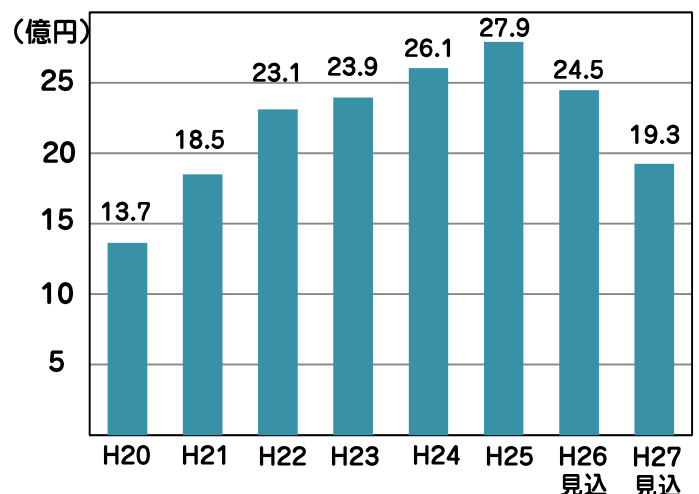
※各会計の規模や内容については、1ページの「予算について」をご覧ください。

## ★ 基金について

特定の目的に使用するためや、不況による税収減、災害の発生などの予期しない経費の支出などに対応するために計画的に基金の積み立てを行っています。

主な基金は、財源の不足などの調整を図るための財政調整基金、町債の財源を確保し、円滑な償還のための減債基金、公共施設の整備にあてる公共施設整備基金などがあります。

### 財政調整基金、減債基金、特定目的基金の合計残高



※平成20年度から平成25年度は決算残高、平成26年度および27年度は見込額を計上しています

## 平成27年度 飯豊町の予算のあらまし

- 発行年月 平成27年4月
- お問い合わせ先 飯豊町役場 総務企画課 総合政策室  
〒999-0696  
山形県西置賜郡飯豊町大字椿2,888番地  
電話 0238-87-0521（直通）
- ご意見をお寄せください 電子メール  
iide-info@town.iide.yamagata.jp
- もっと詳しく知りたい方は



the most beautiful  
villages in japan

**飯豊町**  
山形県

飯豊町は「日本で最も美しい村  
連合」に加盟しています。